

建築プロジェクト入学者選抜 実技試験実施要領

1. 事前準備について

第1次選考の合格者に対して、以下のものを宅配便にて送付します。試験の3日前までに届かない場合には、入試課に問い合わせてください。

- ① 実技試験用 A3 ケント紙 2 枚
- ② 下書き用 A3 コピー用紙 2 枚
- ③ 返送用荷札（着払い用）

①～③を受領次第、入試課（ad-office@ow.shibaura-it.ac.jp）へ受領確認のメールを送付してください。

「件名」：建築プロジェクト入学者選抜実技試験備品の受領報告

「本文」：受験番号、氏名のみを記載

また、作品を制作する際の着色、彩色は自由です。彩色をする場合は色鉛筆等彩色の道具を用意しておいてください。ただし、試験中にそれらを取りに離席することは認められません。

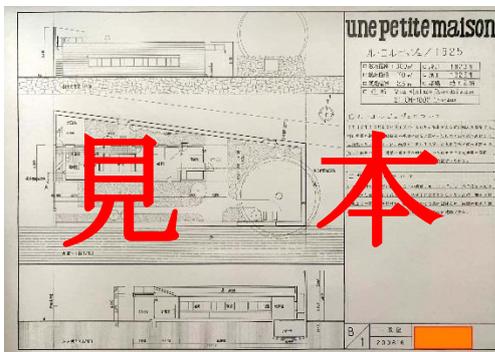
2. 当日の実施方法

Zoomにて実技試験を実施します。以下のフローチャートに従って受験してください。

受験者	芝浦工業大学
① 試験開始 30 分前までに指定の ZOOM ミーティンググループに入室する。	
	② 試験方法をアナウンスする。試験開始時刻になったら合図をする。
③ 試験開始後はカメラで手元を写すようにし、試験監督が作業を確認できるようにする。	
	④ 試験終了時刻になったら合図をする。
⑤ 作業をやめ、作品（実技試験用 A3 ケント紙）をスマートフォンまたはタブレット等で撮影し、撮影データを入試課（ad-office@ow.shibaura-it.ac.jp）へ以下の要領でメール送信する。 「件名」：建築プロジェクト 受験番号 氏名 「本文」：空欄 「添付」：画像データ	
	⑥ 受験者全員がメールで作品を送付したことを確認した後、実技試験を終了する。受験者は終了の合図があるまで、カメラの前で待機すること。
⑦ 面接試験終了後、作品と下書き用紙を送付されてきた箱に入れ、返送用荷札を貼り、近くのヤマト便取扱店から発送する。	

3. 注意事項

- ・ 試験開始後はカメラで手元を写すようにし、試験監督が作業を確認できるようにしてください。また原則として、スマートフォンではなく PC やタブレットと Web カメラを使用してください。
- ・ PC やタブレットは、試験時間中に電源が落ちないように、必ず電源につないでください。また、PC やタブレットを操作しない状態で画面が暗くなるまで・スリープするまでの時間は 2 時間以上になるよう、試験開始までに設定してください。
- ・ 実技試験中にトイレ等途中退出はできません。また、課題に関する質問も受け付けません。やむを得ない事情が発生した場合は、ZOOM のプライベートチャット機能を使い、試験監督に申し出てください。
- ・ 上記フローチャート⑤において、作品を撮影する際は描いたものをなるべくまっすぐに、解像度を上げて撮影できるように事前に練習をしておいてください。(以下の添付写真を参照してください)



○良い例



×撮り直しが必要な例

- ・ 実技試験の評価は、試験終了後にメールで送付した作品の画像と後日受領した作品の原本の両方をもって行います。面接試験終了後、直ちに送付をしてください。